

データ総研の スキルアップ教育コース

2011年10月～2012年3月
開催コースのご案内

スキルアップ教育コース一覧

ITスキル標準V3 に基づき、データ総研で取り扱っている教育コースを職種別に表記しています。

特に は、各職種に求められる中核スキルに対応したコースですので、優先して受講されることをお勧めします。

著作：経済産業省、独立行政法人 情報処理推進機構

スキル分野	コース名	職種						主催企業	受講形態	ページ	
		コンサルタント	ITアーキテクト	プロジェクトマネジメント	ITスペシャリスト/ アプリケーションスペシャリスト						
					データベース管理者 (DBA)	データ管理者(DA)	開発担当(SEE)				運用保守担当(SEE)
テクノロジー	運用管理サービスフレームワーク概要							E	17		
メン ド ロ ジ	基礎知識	ソフトウェアエンジニアリング概論						GKNW	C	17	
		ロジカル・シンキングのためのフレームワーク活用							C	17	
		ITコンサルタントの養成(基礎)							C	17	
		経営戦略の基礎知識							E	17	
		コンサルティング基礎							E	17	
		コンサルティングメソドロジ							E	17	
	データマネジメント	「DAMA-DMBOK」基礎教育コース						DRI	C	9	
		「DAMA-DMBOK」データアーキテクト管理コース							C	10	
		「DAMA-DMBOK」DW/BI管理コース							C	11	
		「DAMA-DMBOK」リファレンスデータとマスターデータ管理コース							C	12	
		データ辞書構築ノウハウコース							C	13	
		データクレンジング手順習得コース							C	14	
	基礎技術(可視化) : データモデリング : プロセスモデリング	データモデリングの基礎と演習(DC)						DRI	C	2	
		データモデリングの活用(AC)							C	3	
		業務分析力・コミュニケーション力強化(VC)							C	4	
		プロセスモデリング(PROC)							C	5	
		データモデル読解(SD)							O	18	
	工程: 企画	RFP作成体験コース						シス企	C	7	
システム分析・企画コース							C		15		
工程: 要件定義	要件定義の進め方コース						DRI	C	8		
工程: 要件定義/開発	Webデータベースシステム構築コース						DRI	O	18		
プロジェクトマネジメント	“超”プロマネ養成塾						シス企	C	16		
	プロジェクトマネジメント(前編)							GKNW	C	17	
	プロジェクトマネジメント(後編)								C	17	
ビジネス/インダストリ	業務知識とデータモデルパターン						DRI	C	6		
	ITプロフェッショナルのための会計の基礎							GKNW	C	17	
	ITプロフェッショナルのための財務諸表の読み方								C	17	
	事例で学ぶITソリューション活用								C	17	
	ビジネス・ドキュメンテーションの基礎								C	17	

主催企業 DRI: 株式会社データ総研
シス企: システム企画研修株式会社
GKNW: グローバルナレッジネットワーク株式会社

受講形態 C: オープンカレッジ(集合研修) FAXまたはWEBからお申込みいただけます。すべてオンサイトでの実施が可能ですので、お問合せください。
O: オンサイトのみ ご指定の場所・日時で実施いたします。ご要望に応じてオリジナルメニューも設計いたしますので、お問合せください。
E: eラーニング CD-ROMを教材としてご自身で自由に学んでいただけます。

データ中心の業務分析手法

データモデリングの基礎と演習(DC)

長年にわたる実務経験の中で、洗練された業務分析のノウハウと技術をお教えします

大規模化・複雑化する業務システム開発において、業務分析・要件定義作業は難易度を増すばかりです。

しかし、真に業務に貢献する業務システムを開発するためには、これら上流工程がとても大切です。

品質・コスト・納期についての問題を起こさないためにも、ユーザと情報システム部門・システムエンジニアが上流工程で業務を可視化し、共通認識を持つことが重要です。

業務の可視化で一番大切なことは、業務で使われている「データの構造」を明らかにすることです。

業務プロセスのインプットもアウトプットもデータです。

データの関連を明らかにすることで、業務で何をしているのか、業務と業務の関係がどうなっているのかが明らかになるのです。

本コースでは、業務で使用される情報(画面・帳票)を素材として、業務の本質を効率的に把握し、表現するデータモデリング技法(PLAN-DB)を学び、グループ演習により体験的に習得いただきます。

これは、他の記述法(UML・IDEF1Xなど)で表記する方にとっても、エンティティの切り出し方法など、大変参考になるコースです。

問題点抽出・新規設計の具体的な手順は、後編コース「新規業務設計のためのデータモデリングの活用(AC)」で習得いただきます。

管理者の方向けとして、1日目のみの受講も可能です。(講義のみ・演習なし)

前提条件(知識)： 特になし

対象者： ・業務分析・要件定義に取り組む担当者
・概念・論理データベース設計に取り組む担当者

開催人数： 3名～

受講料： 135,000円/1名(税込) 管理者向け：50,000円(税込)

時間・日数： 9:30～17:30・3日間 管理者向け：1日間(初日のみ)

受講内容：

1日目：基本的な考え方と表記ルール

1. データモデルとは
2. 概念ファイル(エンティティ)と関係の認識
3. 関係の種類とその表現
4. データモデルの精緻化
5. 概念ファイル類型と構造図配置ルール
6. 加工データと処理プロセス

2日目：部分図作成の進め方と部分図演習

7. 帳票確認の進め方
8. 帳票分析の進め方

演習1(部分図演習)

3日目：部分図演習の続き、統合の進め方と統合演習

9. 統合の進め方

統合演習

注意事項

・当コースは「業務分析力・コミュニケーション力強化(VC)」と内容が重複しております。予めご了承ください。

新規業務設計のための データモデリングの活用(AC)

新規業務設計では、現状業務における問題点を把握した上で、それをどのように解決していくかを検討し、設計書として反映していきます。検討結果については、関係者（特に利用部門）の理解と承認が得ることが必須であり、後工程にその内容を正しく伝えることが重要です。

しかし、実際には、要件定義作業における成果物が、単なる文章による説明資料やプレゼン資料になっている場合が多く、関係者の理解が得られないまま進んでしまうことがしばしばあります。その結果、要件定義作業の後戻りが発生したり、意図したシステムとは違うものが出来上がったりします。

そういった状況を回避するためには、「モデルベース」での新規業務設計の実施が重要になります。現状業務分析結果との対比によって何がどのように変わるのかがわかり易くなることで、関係者の理解が深まり、正しい承認が出来るようになります。

本コースでは、新規業務設計のうちのデータ設計（新規データモデリング）の範囲を対象としており、業務課題に対応して新規データ構造を設計する際の手順や着眼点を習得していただきます。また、後工程に続く作業として、データ定義や論理DB設計に関する手順・要点も習得していただきます。

また、本コースは、弊社教育コース「データモデリングの基礎と演習(DC)」の続編という位置付けです。「データモデリングの基礎と演習(DC)」が主にデータモデリングの基礎知識と現状データ分析のノウハウを提供しているのに対し、本コースはそれに続く新規データ設計のノウハウを提供するものです。

前提条件(知識)：「データモデリングの基礎と演習(DC)」を受講しているか、もしくは同等の知識・経験を有すること

対象者：
・業務分析・要件定義に取り組む方
・概念・論理データベース設計に取り組む方

開催人数： 3名～

受講料： 50,000円/1名（税込）

時間・日数： 9:30～17:30・1日間

受講内容：

1. データモデルからビジネスルールを読む
2. 業務問題点の抽出
3. 新規データ構造設計
4. 新規入出力設計
5. データ定義
6. 論理データベース設計

各セッションごとに小演習を行います。

図面言語による 業務分析力・コミュニケーション力強化(VC)

業務モデリングのプロ～黒澤基博～のノウハウを結集したコースです。

業務プロセス図やデータモデル図を武器として業務分析力を向上させ、ユーザと共同で業務要件固めを推進できる人材を育成します。

本コースで解説する3つのポイント

業務を可視化するとは何か
ヒアリングの勘所は？
業務改善の着眼点

課題 : 業務要件定義の人材不足

ユーザー側に十分な工数がないため、開発側で
一歩踏み込んだ業務要件定義が望まれている

課題 : 業務に切り込む方法が不明

UMLやER図の表記法を勉強しても、何を聞き、
何を表現すべきかわからない

課題 : 業務改善に貢献できない

モデル図で可視化した結果を評価し、
新しい業務を考えることができない

前提条件(知識) : 特になし

対象者 :
・ユーザーとソフトウェア開発者の間に立って、業務要件をまとめる位置づけの方
・これから業務モデリングを身につけたい方
・既存のモデリングコースで満足していない方

開催人数 : 3名～

受講料 : 90,000円/1名(税込)

時間・日数 : 10:00～17:30・2日間

受講内容 :

1日目

1. 業務分析・要件定義工程の課題
2. ビジネス系情報システムの特徴と解決アプローチ
・後戻りのない業務要件定義の進め方
3. 業務プロセスの可視化と改善の着眼点
・業務とは「DO」である
・複雑な業務構造を観点別の理解に置き換える
・何を記述し、何を省くか
4. 業務プロセス可視化の演習

2日目

5. 業務データ構造の可視化と改善の着眼点
・7つの質問で業務がわかる
6. 業務データ構造可視化の演習
7. 全体総括

業務プロセスの可視化と改善のための プロセスモデリング(PROC)

半日で業務プロセスのモデリングを完全にマスタして頂けるコースです。

ビジネス活動は、物と金が動いた際に、あるいは契約を結んだ際に、必ず証憑（業務入出力）が残る仕組みになっています。

このような証憑を使ってビジネス活動の足取りを捉えることで、ビジネスのプロセスをモデル化することができます。

本コースでは、この考え方をもとに考案された業務プロセスのモデリング技法（PLAN-PROC）、及びその表記法（IPFチャート）を、演習を交えて体得していただきます。

IPFチャートは、業務を明確に捉え、業務の開始条件、業務の責任と権限の所在、および業務連鎖を表現するものです。

前提条件(知識)： 特になし

対象者： ・業務分析・要件定義に取り組む方
・業務プロセスの可視化・改善に取り組む方

開催人数： 3名～

受講料： 30,000円/1名（税込）

時間・日数： 13:30～17:30・半日間

受講内容：

- 1.業務プロセスモデル
 - ・業務プロセスモデルの目的と用途
 - ・複雑な業務の視点別理解
 - ・業務入出力を利用するモデリング方法
- 2.IPFチャート
 - ・IPFチャートの構成要素
 - ・構成要素間の色々な関係
- 3.業務プロセスモデリングの手順
 - ・WBS作成
 - ・IPFチャート作成
- 4.問題点抽出の視点と新規業務プロセスイメージ
- 5.演習

注意事項

・当コースは「業務分析力・コミュニケーション力強化(VC)」と内容が重複しております。予めご了承ください。

要件定義者のための 業務知識とデータモデルパターン

要件定義における実践的データモデルパターン講座

業務システムを構築するには、ユーザのビジネスや業務をキチンと捉えられる業務知識が不可欠です。

ところが、IT技術の急激な変化のキャッチアップに追われて、「業務の内容や問題意識をユーザと共有できないSEが増えている」という声が聞かれます。

業務知識とモデルパターン両方を学習し、典型的パターンを知っていれば、個別業務に切り込むことができるようになります。また、要件定義の現場で瞬時に反応するためには「型（パターン）」の蓄積が不可欠であり、プロを目指すには業務モデルの全体観が必要です。

本コースは、業務プロセス・データモデル・組織構造・入出力の関係を、総合的に理解できるように構成されています。

前提条件(知識)： 特になし

対象者： ・業務的な知識とノウハウを体系的に獲得したい方
・データの構造を通じて業務とシステムの関連を深く理解したい方
・データモデルのパターンをシステムの新規設計に活かしたい方

開催人数： 3名～

受講料： 30,000円/1名・1講座（税込）

時間・日数： 13:30～17:30・半日間

受講内容： 今期は、以下の6講座を順次開催いたします。

<p>販売物流</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. モデル文法と業種分類 2. 販売物流の概要 3. 販売基本契約 4. 引合・見積 5. 受注 6. 出荷 7. 請求・回収 8. 商品在庫管理 9. 販売計画 10. 販売・物流のリソース 11. その他トピックス 	<p>購買管理</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. モデル文法と業種分類 2. 購買管理の概要 3. 購買基本契約依頼 4. 見積依頼 5. 購買基本契約 6. 購買依頼 7. 発注 8. 入荷・検収 9. 請求照合・支払 10. 資材在庫管理 11. 購買計画 12. 購買のリソース 13. その他トピックス 	<p>マスターデータ管理</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. モデル文法と業種分類 2. マスターデータ管理の概要 3. 組織・要員 4. 場所 5. 取引先 6. 設備 7. 品目 8. 勘定科目 9. その他のマスター 10. トピックス 11. その他トピックス
<p>基幹業務と会計業務の連携モデル</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. モデル文法と業種分類 2. 企業基幹業務の概要 3. 販売管理 4. 購買管理 5. 生産管理 6. 在庫管理 7. 販管費管理 8. 給与計算 9. 固定資産管理 	<p>財務会計</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. モデル文法と業種分類 2. 財務会計の概要 3. 仕訳～決算 4. 財務諸表作成 5. 財務諸表分析 6. 財務会計のリソース 7. その他トピックス 	<p>生産管理</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. モデル文法と業種分類 2. 生産管理業務の概要 3. 製品特性の整理 4. 技術情報（BOM関連） 5. 需要予測と生産計画 6. 受注・出荷と在庫管理 7. 資材供給管理 8. 製造工程管理 9. 関連業務（リソース、品質管理など） 10. その他トピックス

RFP作成スキル向上

RFP作成体験コース

RFP作成から提案評価まで

システム開発におけるRFP（提案依頼書）作成の重要性が広く認識されるようになり、多くの企業でRFPを作成するようになってきました。

しかし、これまでRFPを作成する機会がなかったなどの理由で、RFP作成の知識・経験が不十分なままRFPを作成せざるを得ないことも多く、次のような問題が発生しています。

- ・ RFPに何を記述すれば良いかわからない
- ・ RFPを作成するために何をどこから検討すれば良いかわからない
- ・ どれくらいの期間、体制が必要かわからない
- ・ RFP作成において、どこが重要なポイントかがわからない
- ・ ベンダーからの提案をどのように評価・比較すれば良いかわからない

このような問題を解決するため、本コースでは、RFP作成から提案評価までの実際の流れを体験し、実践で使える知識を身につけます。

まず、RFP作成における考え方をご説明し、その後、RFP作成から提案評価までの流れに沿って各タスクごとに内容・成果物・ノウハウの解説・ミニ演習を繰り返すことにより、RFP作成を体験します。

RFP作成の全体の流れを体感的に理解できるので、これまでのRFP作成の経験を整理するのにも役立ちます。

前提条件(知識)： 特になし

対象者：

- ・ RFPを初めて作成する方
- ・ 何回かRFPを作成しているが、あまりうまくいっていないと思われる方
- ・ RFP作成の社内標準を作成したいと思われる方

開催人数： 3名～

受講料： 45,000円/1名（税込）

時間・日数： 10:30～17:30・1日間

受講内容：

1. RFP作成における重要な考え方
2. RFP作成プロジェクトの体制
3. RFP作成手順（手順・成果物・ノウハウの解説、ミニ演習）
 - 解説タスク
 - ・ 基本要件の確認
 - ・ 環境要件の確認
 - ・ 契約事項・提案条件の確認
 - ・ 目的・ねらいの具体化
 - ・ 課題の設定
 - ・ システム機能の定義
 - ・ 環境要件の確認
 - ・ 契約事項・提案条件の確認
 - ・ 想定見積
 - ・ 提案依頼範囲の確定
 - ・ RFP作成、承認、提案依頼
 - ・ 提案書評価
4. ディスカッション・全体総括

要件定義の重要ポイントを解説

要件定義の進め方コース

システム開発には、業務の仕様を決定し、それに基づくシステムへの要求仕様を決める要件定義工程があります。しかし、属人的なスキルに頼っているため、経験の少ない技術者ではうまくかない、という問題が多数発生しています。このような問題を解決するため、データ総研は、要求定義から要件定義の作業ガイドである「要件定義ガイド」および、要件定義から設計工程の方法論である「DOA-RAD」を提供しています。これらのガイドや方法論は標準的なプロセスの進め方や、成果物の雛形で構成されています。

本コースでは、「要件定義ガイド」と「DOA-RAD」をもとに、弊社の経験とノウハウから要件定義の進め方と、ポイントを解説します。

前提条件(知識) : 特になし

対象者 :

- ・要件定義をどのように進めるべきかがわからない方
- ・要件定義工程で、どこまでのことを決めるべきか悩んでいる方
- ・要件定義段階の業務モデル作成をどうすべきか迷っている方
- ・どうしても開発要件が膨らんでしまうとことに問題意識を持っている方
- ・要件定義の標準化と技術者育成が課題となっている方

開催人数 : 3名 ~

受講料 : 10,000円/1名 (税込)

時間・日数 : 14:00 ~ 17:15 ・半日間

受講内容 :

1. 要求定義と要件定義における考え方
 - ・システム開発案件失敗原因の大半は上流にある
 - ・要求定義と要件定義
 - ・目的指向のアプローチ
 - ・DOAの業務写像技術
 - ・要求定義と要件定義の全体概要
2. 要求定義の進め方と成果物
 - ・要求定義の重要事項「開発目的の明確化」
 - ・要求定義工程の進め方と成果物
 - ・問題分析に必要な手法「問題点関連図手法」
3. 要件定義の進め方と成果物
 - ・要件定義方法論「DOA-RAD」
 - ・要件定義工程の進め方と成果物
 - ・業務分析に必要な技法
4. まとめ

データマネジメントソリューション

「DAMA-DMBOK」基礎教育コース

エンタープライズシステムの構築、および、将来を見据えたエンタープライズシステム統制のために、データ管理機能の実行・改善に適用する基礎知識を習得するコースです。

米国DAMA Internationalによるデータ管理に関する知識体系「DMBOK(Data Management Body of Knowledge)」の解説を通し、データ管理の基本原則・重要性を理解いただき、エンタープライズデータ資産の維持管理の実現方法を知ることができます。

本コースは、日本で初めての「DAMA-DMBOK」教育コースです。

データマネジメント知識体系「DAMA-DMBOK」だけでなく、弊社のコンサルティング実績ノウハウに基づく、データマネジメント導入・実践ポイントも合わせて学ぶことができます。これからの企業情報システム戦略には必須の内容です。

～DAMA International (米国) について～

DAMAは、ベンダーに依存せず、情報資源管理やデータ資源管理を進めるビジネスとデータの専門家による非営利団体です。1980年に米国ロサンゼルスで最初の支部が設立されました。DAMAのビジョンは、情報やデータの管理に従事する人々にとっての重要な情報源になることであり、情報やデータ管理の重要性を世界中に理解してもらうことをミッションにしています。
<http://www.dama.org/>

【本コースの目的・ねらい】

- ・データマネジメント知識体系「DAMA-DMBOK」のフレームワーク、データ管理構成要素を理解する
- ・「DAMA-DMBOK」について、各知識エリア毎の理解を深める
- ・データマネジメントの導入、実践するためのポイントを理解する
- ・エンタープライズデータ資産の対象選定や維持管理のポイントを理解する

前提条件(知識)： 特になし

対象者： ・ DMO(Data Management Office:データ管理組織)メンバーや
DA(Data Administrator:データ管理者)の役割を担う方
・ 全社システム企画を担当される方
・ コードセンターや経営情報分析などの業務を担うユーザー部門の方
・ SI企業ご所属のEnterpriseシステム提案を担当される方

開催人数： 3名～

受講料： 30,000円/1名(税込)

時間・日数： 13:30～17:30・半日間

受講内容：

1. 導入章：データマネジメントについて
 - * Data Governance / Data Management の重要性
 - これまでのデータ管理との違い
 - * Data Governance / Data Management の導入事例紹介
2. DMBOK基礎教育
 - * DMBOK体系
 - DMBOKとは？
 - 機能体系とその連携
 - * Data Managementを構成する10機能
 - 各機能の特徴
 - 導入/実行時のポイント
3. 全体総括・質疑応答

システム全体の最適化をはかる青写真

「DAMA-DMBOK」データアーキテクチャ管理コース

「DAMA-DMBOK」ではエンタープライズ（企業や公共団体など）におけるデータの管理/統制に必要な機能を、10個のセグメントに体系化、整理しています。この10個のセグメントの中でも、とりわけ他のセグメントに影響をあたえるのが「データアーキテクチャ管理」機能です。

データアーキテクチャ管理で策定するドキュメントは、エンタープライズのデータ管理における青写真（Blue Print）と規定されており、他のマネジメント機能に対する統制、および、他のマネジメントが準拠すべき内容となっています。

このコースでは「DAMA-DMBOK」に準拠し、データアーキテクチャの上位概念であるエンタープライズアーキテクチャ（EA）とは何か？ データアーキテクチャの役割は？ データアーキテクチャ管理で策定する個々のアクティビティについて解説します。

また、弊社のコンサルティング実績ノウハウに基づき、実践的なデータアーキテクチャの策定手順についても解説いたします。

肥大する情報システムを統制し、理想的な情報システムを企画・構築するためにも必須の内容です。

前提条件(知識)：特になし

但し、別教育コース『「DAMA-DMBOK」基礎教育コース』を事前に受講していただくとより理解が深まります。

対象者：

- ・EAの策定をはじめとした全社システム企画に携わる方
- ・DMO(Data Management Office:データ管理組織)メンバーやDA(Data Administrator:データ管理者)の役割を担う方
- ・SI企業ご所属のEnterpriseシステム提案に携わる方

開催人数： 3名～

受講料： 30,000円/1名（税込）

時間・日数： 13:30～17:30・半日間

受講内容：

1. はじめに
2. 背景と課題
3. 定義とゴール
4. 基礎概念
 - ・ 概念と活動の概要
 - ・ 登場する組織と役割
5. 進め方・手順と推進上のノウハウ
 - ・ エンタープライズの情報に関するニーズの把握
 - ・ エンタープライズデータモデルの開発と維持
 - ・ 他のビジネスモデルとの分析と調整
 - ・ データテクノロジーアーキテクチャの策定と維持
 - ・ データ統合アーキテクチャの策定と維持
 - ・ DWH/BIアーキテクチャの策定と維持
 - ・ エンタープライズタクソノミとネームスペースの定義と維持
 - ・ メタデータアーキテクチャの策定と維持
 - ・ まとめ

経営上の意思決定を支援する 「DAMA-DMBOK」DW/BI管理コース

「DAMA-DMBOK」ではエンタープライズ（企業や公共団体など）におけるデータの管理/統制に必要な機能を、10個のセグメントに体系化、整理しています。この10個のセグメントの中で、意思決定支援データを提供し、報告・検索・分析作業に従事する知識労働者をサポートするための機能が、「データウェアハウジングとビジネスインテリジェンス（以下、DW/BIと表記）管理」です。

DW/BI管理はどのようなBIニーズがあるかを把握した上で、必要とされるデータウェアハウスやBIのアーキテクチャを策定し、ツールの導入やDW/BIプロセス・パフォーマンスの監視及びチューニングまでを網羅したものです。

このコースでは「DAMA-DMBOK」に準拠し、特に我々が重要と考える、BIニーズの把握、DW/BI構築に必要とされるアーキテクチャやデータモデリングの考え方など、DW/BIシステム構築の上流工程を中心に解説します。

また、弊社のコンサルティング実績ノウハウに基づき、DW導入事例についても解説いたします。

ビジネス環境の変化に対応し、迅速な経営上の意思決定や、戦略的な情報分析に寄与する情報システムを企画・構築するためには必須の内容です。

前提条件(知識)：特になし

但し、別教育コース『「DAMA-DMBOK」基礎教育コース』を事前に受講していただくと、より理解が深まります。

対象者：
・ DW/BIやCRMなど情報系システムの構築に携わる方
・ EAの策定をはじめとした全社システム企画に携わる方
・ DMO(Data Management Office:データ管理組織)メンバーや
 DA(Data Administrator:データ管理者)の役割を担う方
・ SI企業ご所属の情報系システム提案に携わる方

開催人数： 3名～

受講料： 30,000円/1名（税込）

時間・日数： 13:30～17:00・半日間

受講内容：

1. はじめに
2. 背景と課題
3. 定義とゴール
4. 基礎概念
 - ・ 概念と活動の概要
 - ・ 登場する組織と役割
5. 進め方・手順と推進上のノウハウ
 - ・ BIニーズの把握
 - ・ DW/BIアーキテクチャの策定
 - ・ DW/DMの導入 など
6. 他社事例

IT全体を成功に導くカギ「MDM」を実現する 「DAMA-DMBOK」

リファレンスデータとマスターデータ管理コース

「DAMA-DMBOK」ではエンタープライズ（企業や公共団体など）におけるデータの管理/統制に必要な機能を、10個のセグメントに体系化、整理しています。この10個のセグメントの中で、特に重要なマスタ系のデータに関わる領域を「リファレンスデータとマスターデータ管理」機能としてまとめています。

昨今、企業内外の広範囲にわたるデータ連携のニーズが非常に高まっています。それに伴い、コードの統一やマスターデータの整備・統合が不可欠であることが認識されはじめました。

本コースでは「DAMA-DMBOK」に準拠し、そもそもリファレンスデータ管理やマスターデータ管理とは何か？どうすれば最適な管理が実現できるのか？ということについて、計画、設計、開発、運用という各局面で必要な考え方や具体的な作業の進め方・成果物などについて解説します。

また、弊社のマスターデータに関するコンサルティング事例・ノウハウも適宜ご紹介しながら、より実践的な解説も行います。

前提条件(知識)：特になし

但し、別教育コース『「DAMA-DMBOK」基礎教育コース』を事前に受講していただくとより理解が深まります。

対象者：

- ・コードの統一や、マスタ統合などの企画・立案に携わる方
- ・DWHやCRMなどの情報系システムの構築に携わる方
- ・EAの策定をはじめとした全社システム企画に携わる方
- ・SI企業ご所属のMDMシステム提案を携わる方

開催人数： 3名～

受講料： 30,000円/1名（税込）

時間・日数： 13:30～17:00・半日間

受講内容：

1. はじめに
2. 背景と課題
3. 定義とゴール
4. 基礎概念
 - ・ 概念と活動の概要
 - ・ 登場する組織と役割
5. 進め方・手順と推進上のノウハウ
 - ・ リファレンスデータとマスターデータ統合に関するニーズの把握
 - ・ マスターデータとリファレンスデータのソースと貢献者の特定
 - ・ データ統合アーキテクチャの策定と維持
 - ・ リファレンスデータとマスターデータ管理のソリューションの導入
 - ・ マッチングルールの定義と維持
 - ・ 「ゴールド」レコードの構築
 - ・ 階層とアフィリエーションの定義と維持
 - ・ 新しいデータソースの統合の計画と実施
 - ・ リファレンスデータとマスターデータの複製と配信
 - ・ リファレンスデータとマスターデータへの変更管理
6. 他社事例

システム保守に効果を発揮する データ辞書構築ノウハウコース

DAMA-DMBOKで解説されている「値ドメイン」をベースに作成・改良した「用語ドメイン」を用いて、メタデータ管理の実現を図ります。既存システムへ適用性に優れ、かつ維持が容易な「データ辞書」を短期間で構築し、活用するための具体的な方法とノウハウを習得していただく内容になっています。

本コースでは、データ管理者（DA）にとって必須である、膨大な数のデータ項目を簡便に一元管理できる技術を体得していただきます。DBテーブル定義書やコード定義書などデータ系ドキュメントそのものをデータ辞書上で一元管理することで、DBや言語環境、システム規模を問わない効率的なシステムの開発・保守が可能になります。

本コースは、次のようなことを理解し、現場で適用できることを目指していただきます。

- ・DBテーブル定義書やコード定義書を素材にし、最適な「用語ドメイン」を切り出す技術
- ・データ項目が保有する業務ルールや、開発・保守に役立つ意味や制約を「用語ドメイン」で管理すること
- ・「用語ドメイン」とデータ項目の紐付けを行い、データ辞書で一元管理すること
- ・メタデータ管理を失敗させないためのコツ

本コースの演習では、人事・給与系テーブル定義のサンプルを基に、用語ドメインの切り出し、用語ドメインの定義、データ項目との紐付けなど、データ辞書作りを一通り体験していただきます。

前提条件(知識)： 特になし

対象者：

- ・データ管理者（DA）を目指す方
- ・データ辞書構築に取り組む方
- ・データガバナンスに取り組む方
- ・開発・保守の効率化を目指す方

開催人数： 3名～

受講料： 45,000円/1名（税込）

時間・日数： 10:30～17:30・1日間

受講内容：

1. 情報システムにおける課題
 2. 解決策はメタデータ管理
 3. メタデータ管理の事例
 4. メタデータ管理ノウハウ
 - ・用語ドメインとは
 - ・用語ドメインの切り出し方
 - ・用語ドメインの定義指針
 - ・実装環境構築のポイント
 - ・デモ実施
 5. 成功のための心得
- 演習（人事・給与システムを例題に）
演習結果のレビューと質疑応答

簡単でしかも効率のよいデータクレンジングの手順を学んでみませんか

データクレンジング手順習得コース

データのダブリ（重複）などの不具合により、

- ・誤注文、誤配送、請求漏れなどビジネスに支障が出ている
- ・データを移行したいが、うまくできない

などでお困りの方や、ERP導入に備えてマスタ整理が必要になっている方に学んでいただきたいコースです。

データの不具合とは、本来想定していない、間違いのある状態であり、例えば以下のような事象があります。

- ・情報にダブリ（重複）がある【データ重複・レコード重複】
- ・余計な情報が混ざっている
- ・必要な情報が不足している
- ・情報に誤りがある
- ・情報が古い
- ・情報が実在しない

データクレンジングとは、文字通りデータをキレイにすることを指します。

キレイなデータとは、情報がルールに従って過不足なく入力（記入）され、信頼できる状態のデータです。

しかし、実際にデータをクレンジングしようとした際には

- ・「どこをポイントに、どう進めていけば良いのかわからない」
- ・「データが数十万件、数百万件もあり何百時間かかるかわからない」
- ・「費用対効果が見積もれないので予算を確保できない」

といった声がよく聞かれます。そこで我々は、データクレンジングの作業の本質を突詰めて整理できないかと考えました。これらをまとめたのが本コースです。

皆様が日頃使われている業務データのうち、マスターデータの不具合をクレンジングすることが重要です。

本コースでは、主に取引先マスターを題材にして、データクレンジングの手順を学んでいただきます。

ツール活用の際の基本的なルールの考え方を整理し、郵便番号や企業情報（無償・有償）など入手性の高い各種データを活用し、効率を最大化する点に着目し、具体的なデータ品質確保の進め方とノウハウを習得していただきます。

本コース受講により、次のようなことを理解し、現場で適用できることを目指していただきます。

- ・名寄せに関する知識や進め方
- ・データ成形に関する知識や進め方
- ・手作業でのクレンジングに関する知識や進め方
- ・データの妥当性を検証するための手段

前提条件(知識)： 特になし

対象者：

- ・データ管理者（DA）を目指す方
- ・データ辞書構築に取り組む方
- ・データガバナンスに取り組む方
- ・開発・保守の効率化を目指す方

開催人数： 3名～

受講料： 30,000円/1名（税込）

時間・日数： 13:30～17:30、半日間

受講内容：

1. はじめに
2. データクオリティの影響
3. 全体の流れ
4. クレンジング準備
5. クレンジング（マシン）
6. クレンジング（手作業）
7. クレンジング結果検証

システム分析・企画コース

企業活動は、改善・改革・革新により、事業競争力強化が常に要求されます。システムもこれに即応しなければなりません。何のために開発するのか、どのような要件をシステムで実現するのか、開発の結果何をしようとしているのか、などを明確にした上で、適切なシステム対応をすべきです。

目的・ねらいを明確にしないまま開発保守を行い、目的・ねらいとは乖離したシステムが出来上がってしまったケースも少なくありません。

システム分析・企画能力は、事業体、職種を問わず、ビジネス従事者に必須の能力要件です。

本コースは、問題点分析、目的・ねらい設定など、システム分析・企画に必要な手法を習得していただくコースです。

座学だけでなく、演習をおりまぜており、手法を体験的に習得いただくことができます。

【本コースの目的とねらい】

(1) 目的： システム分析・企画手法を習得します

1. 基本的な考え方
 - ・システム分析・企画業務に反映されるべき要件の思考原理
2. 主要手法
 - ・目的・ねらいの設定手法
 - ・問題点連関図手法
 - ・5W2H手法

(2) ねらい： 以下の業務または、プロジェクトへの参加が容易になります

- ・システム企画
- ・要件定義
- ・営業提案
- ・業務改善～革新
- ・各種企画

主催： システム企画研修株式会社

前提条件(知識)： ビジネス経験3年以上の方

対象者：

- ・業務改善提案、ビジネス系システムの企画をされる方
- ・営業提案をされる方
- ・ビジネス系システムの要件定義をされる方
- ・ビジネス系システムの要件定義を指導・管理される方

開催人数： 5名～

受講料： 81,900円/1名(税込)

時間・日数：

1. 事前学習(e-learning)： 4時間程度(個人差あり)
2. 集合教育： 9:30～18:00・2日間

受講内容：

1. システム企画の思考法
 - ・目的・ねらいの重視、ビジネス問題の本質、意思決定の本質について解説
2. 目的・ねらいの設定手法
 - ・業務処理系、管理情報系の価値目標の設定方法と項目について解説
3. 問題点連関図手法
 - ・右方展開による目的の影響結果分析、目的の明確化について解説
 - ・右方展開の演習/発表/講評・研究
 - ・左方展開による部分分解と解決策の導出についての解説
 - ・左方展開の演習/発表/講評・研究
4. 5W2H手法
 - ・連関図対応の企画提案書の記述方法について解説
 - ・5W2H手法の演習/発表/講評・研究

会社を牽引する人材を育てる “超”プロマネ養成塾

システムが大規模・複雑化すると発注側の要求もより厳しくなり、プロジェクトマネージャーの役割や責任は極めて大きくなります。現状の困難な条件でのプロジェクトを納期どおりに、かつ予定内のコストで仕上げることは、非常に難度の高いスキルが必要です。

この「超」プロマネ養成塾は、一般の社員研修ではありません。

一定のスキルを持つプロジェクトマネージャーのリーダー格の方に、『超プロマネ』¹となっただき、各社のプロマネ力の底上げを図ることを目的としています。

¹『超プロマネ』・・・従来の単なる個人的経験に基づいたプロマネの常識を超える、スーパー級のエースを養成する、第1世代の知識体系（PMBOKなど）を超える、といった意味が込められています。

この方法論・研修は、三井造船システム技研とマインドリサーチ（現：システム企画研修）で開発され、1999年よりシステム企画研修が主催し、すでに400名以上の方が受講されています。

講師陣は、PMAJ（日本プロジェクトマネジメント協会）で活躍されている方々、著名な実践家など、その道の第一人者ばかりです。研修は6ヶ月にわたり、講師と受講者同士が経験ノウハウを共有し、相互啓発を重視した訓練を重視しています。まず、プロマネに必要な手法・ノウハウを体系化したマニュアル（PMM）をご提供し、訓練が必要な項目に対し講義・演習を行います。これを基礎に現場での実践成果を発表いただき、講師陣が丁寧にフォローすることで、プロジェクトマネジメント力を身につけます。本講座内の2講座については、PMI（Project Management Institute）認定のPMP（Project Management Professional）取得・維持のためのPDU（Professional Development Unit）の発行、ITコーディネーター協会の知識ポイントの獲得が可能です。

プロマネマニュアルをご提供

プロジェクトマネジメント全体フレームと、具体的な内容のテンプレートやガイドを、CD-ROMで提供します。研修後は、プロジェクトマネジメント標準化の基礎として活用していただけます。

講師陣はプロマネの第一人者

講師兼コースウェア開発者陣は、PMAJ（日本プロジェクトマネジメント協会）で活躍されている方や著名な実践家など、その道の第一人者ばかりです。

相互啓発を重視した訓練・フォロー

講義だけでは、十分な実践力を身につけることはできません。集合研修は毎回、午前が講義、午後が演習となります。集合研修以外にも実践が義務づけられ、成果を相互に発表し、研鑽することで実力を獲得していただけます。

他社メンバーとの交流機会を多く設定

プロマネには広い見識が必要です。他社メンバーと一緒に研鑽し、刺激や知見を得ることは、PM大成にとって極めて重要です。そのための機会を多数設けています。

主催： システム企画研修株式会社

前提条件(知識)： プロマネ経験があり、研修期間中に研修ノウハウを社内実践し成果報告ができる方

対象者： ・プロマネの基礎能力を確実に身につけ、本格的プロマネを目指す方
(ITSS対応ではレベル4以上を目指す方)
・社内のリーダーとしてプロマネの範となる方

開催人数： 1期あたり定員20名

受講料： 基本料金：367,500円/1名(税込)

時間・日数： 9:30～18:00・全9回(6ヶ月間) 期の途中からの参加も可能です。未受講回は翌期に受講できます。

受講内容： 第1回： 企画・提案手法
第2回： チーム・ビルディング
第3回： 見積り
第4回： リスクマネジメント
第5回： WBSと計画管理
第6回： 進捗・コスト管理
第7回： パートナー連携
第8回： プロジェクトマネジメント実践
第9回： 実践報告会

【プロジェクトマネジメント教育】

プロジェクトマネジメント（前編）～しっかりした計画作り・PMBOK第4版対応～

プロジェクト管理の標準化を推進し、プロジェクトの科学的な管理を可能とすることを目標としています。プロジェクトの立上げ、計画立案に主眼を置き、PMI「プロジェクトマネジメント知識体系」第4版に準拠して解説、演習を行いながら計画の作成を進めます。初心者でも容易にプロジェクト計画策定・立案ができることを目標としています。

【対象者】 プロジェクトリーダーやプロジェクトマネージャ、およびその候補者、プロジェクト管理の社内標準を作成する方、プロジェクトマネージャの資格・認定を取得しようと考えている方、システム開発に携わり、より高度な手法の導入を考えている方

プロジェクトマネジメント（後編）～成功するプロジェクト管理実践・PMBOK第4版対応～

プロジェクト管理の標準化を推進し、プロジェクトの科学的な管理を可能とすることを目標としています。プロジェクトの実行、監視コントロール、最終に主眼を置き、PMI「プロジェクトマネジメント知識体系」第4版に準拠して解説し、プロジェクトの実行、監視コントロール、最終の手順を修得します。

【前提条件】 「プロジェクトマネジメント(前編)」を受講、または同等の知識を有している

【対象者】 プロジェクトリーダーやプロジェクトマネージャおよびその候補者、プロジェクト管理の社内標準を作成する方、プロジェクトマネージャの資格・認定を取得しようと考えている方、システム開発に携わりより高度な手法の導入を考えている方

【IT基礎知識/業務分析ノウハウ/提案ノウハウ】

ソフトウェアエンジニアリング概論

SWEBOOKで示された体系をもとにソフトウェアエンジニアリングの概要と基礎知識を修得し、技術者として有すべき知識、思考、姿勢、作法を身につけます。

【前提条件】 何らかの形でソフトウェア開発に関与したことがある。

開発の経験がなくても、営業、運用、疑似プロジェクト形式の開発、管理でも構いません。

【対象者】 ソフトウェア開発全般を把握したい方、ソフトウェア開発についてあらためて体系的に整理したい方

ITプロフェッショナルのための会計の基礎～企業活動における会計処理の流れが身につく！～

企業活動における会計処理の流れと業務で使用される用語を解説します。最終的に、貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書などの財務諸表の構成が理解でき、状況を読み取って説明することができるようになることを目標としています。

【対象者】 会計の基礎知識を修得したい方

ITプロフェッショナルのための財務諸表の読み方～決算書から企業情報を読み解く～

実際の有価証券報告書を使用し、貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書などの財務諸表から何がわかるかを解説します。また、分析した評価をビジネスに活用する方法を学びます。

【前提条件】 「ITプロフェッショナルのための会計の基礎」を受講済みの方、もしくは同等の知識をお持ちの方

【対象者】 財務諸表の構成や読み方を学びたい方、顧客や取引先の財務諸表から課題を分析し提案活動に活用したい方、財務諸表から企業の経営状況を評価する力を付けたい方、自社の経営戦略や事業戦略を策定する方

事例で学ぶITソリューション活用～ITソリューション導入事例を評価し、提案活動に活用する～

ITソリューションを実際のビジネスへ適用することによって何が解決されるのかを、実際の適用事例を取り上げて解説と演習で学習します。

【対象者】 プリセールス活動においてお客様への基礎的な提案力を高めたいコンサルタントやITエンジニア、今後プリセールス活動においてITブランドデザイン策定に携わろうとしているコンサルタントやITエンジニア

ロジカル・シンキングのためのフレームワーク活用

フレームワークの種類と特徴を学び、ソリューション設計のプロセスで適切なフレームワークを活用する方法を修得します。

また、状況に応じた自分なりのフレームワークを作ることができるようになります。

【対象者】 ソリューション提案を行うコンサルティングセールスの方、ソリューション設計を行う方、論理的思考の基盤となるフレームワークの活用方法を修得したい方

ビジネス・ドキュメンテーションの基礎

ビジネスシーンで発生するさまざまな文書を効果的に作成するための知識と技法を修得することを目標として、文書化に関する解説と演習を実施します。

【対象者】 ビジネスシーンに応じた効果的なビジネス文書を作成したい方、ビジネス文書作成の基礎を修得したい方

ITコンサルタントの養成（基礎）～コンサルタントのあり方を学ぶ～

企業が必要としているコンサルタントの発想や考え方で行動できる人材の育成を目指します。

【対象者】 キャリア・アップとしてコンサルタントを目指しているITエンジニア、パワーアップを目指しているベテランのITエンジニア、お客様への提案力を高めビジネス拡大を要請されているITエンジニア、企業内の人材育成を企画・推進している責任者

【自主学習教育 eラーニング】

運用管理サービスフレームワーク概要～ITILの基礎～

ITサービス管理のフレームワークであるITILのうち、サービスサポートとサービスデリバリの2分野の基礎知識を短期間で修得することを目的としています。

ITILの背景になるプロセスモデルについて概説し、サービスサポートの各管理プロセス、サービスデリバリの各管理プロセスについて背景や目標、基本用語を学習します。OGC（英国商務局）が発行しているITIL書籍『サービスサポート』『サービスデリバリ』を利用するための基礎を修得することを目標とします。

【前提条件】 2年以上のシステムの運用管理

【対象者】 ITスタッフ、システム/ネットワーク管理者、ITに関わる管理職および上級マネージメント

経営戦略の基礎知識

IT戦略の前提となる経営戦略の基礎知識を修得し、経営戦略の立案や展開に関する手順を理解できることを目標とします。

【対象者】 コンサルタント、ITアーキテクト、職種を問わず社内外の経営戦略・IT戦略策定を担当する全ての方

コンサルティング基礎

基礎的なコンサルティング技法、ビジネス/インダストリに係わるコンサルティング全般に関する基礎的な知識の修得を目的とします。ビジネス上の課題を解決するための仮説設定、データ収集と分析、解決策の検討と策定、報告書・提案書作成、プレゼンテーションなどのコンサルティング概要を学習します。

コンサルティングメソッドロジ

ビジネス上の課題を解決するための仮説設定、データ収集と分析、解決策の検討と策定、報告書・提案書作成、プレゼンテーションなどのコンサルティングプロセスを学習します。コンサルティングプロセスで使われるメソッドロジを理解し、実践するための知識を修得します。

【オンサイト教育】

Webデータベースシステム構築コース

最近、データベースを利用した業務系のWEBアプリケーション開発が必要になる機会が増えています。

業務系、特にデータベースを活用したアプリケーションでは、データベースの設計が非常に重要です。一方、開発環境では、さまざまなツールやフレームワークなどが次々と登場していますが、どの環境であってもデータベース設計の重要性は変わっていません。

ところが、実際のデータベース設計は技術者個人の力量にまかしているというケースがほとんどのようです。

また、はじめてWEB系の開発をされる場合、環境や言語、手順など戸惑うことが多いのではないのでしょうか。

本コースは、PLAN-DB（データモデリング方法論）とTHモデラー（データモデリング）ツールを提供しているデータ総研、Microsoft社の認定ゴールドパートナーである日本インフォメーションが共同で開発しました。

- ・データモデリングの考え方、文法を学ぶ
- ・論理DB設計の手法を学ぶ
- ・.NET Frameworkを利用したプログラミング手法を学ぶ
- ・Webコントロールを使用してWeb画面の作成手法を学ぶ
- ・ADO.NETを使用したデータベースの接続やバインドの方法を学ぶ

上記を目的とし、データベース設計からアプリケーション実装までの一連の開発手順を2日間で習得します。1人1台コンピュータを使用しながら、実際にデータモデリングやプログラミングを体験するハンズオン形式ですので、確かな学習効果が得られます。

前提条件(知識)：受講者が各自パソコンを使用できる環境

対象者：
・これからWebアプリケーションの開発を始める方
・データベース設計やデータモデリングを学んでみたい方
・.NETアプリケーション開発を始めようとしている方

開催人数：3名～

受講料：1,250,000円（税込）
15名様までの価格です。人数超過の場合、1名：30,000円となります。

時間・日数：10:00～17:30・2日間

受講内容：

1日目 1. はじめてのモデルベース開発 2. はじめてのデータモデル（文法） 3. はじめてのデータモデリング（手順） 4. 演習 5. データモデルからの実装
2日目：.NETアプリケーション実装と総括 6. SQL Server 2005概要 7. Visual Studio 2005 8. SQL Server 2005、Visual Studio 2005による実装 演習 全体総括

データモデル読解(SD)

要求仕様書であるデータモデルの図面上に表れる表記ルールから、仕様を正確に読み取り、ビジネスルールを高速に理解するコースです。

前提条件(知識)：特になし

対象者：
・システム設計・開発工程のレビューご担当者
・データモデルに記述されている要求仕様を正確に理解したい方

開催人数：3名～

受講料：450,000円（税込）
15名様までの価格です。人数超過の場合、1名：30,000円となります。

時間・日数：10:00～17:30・1日間

受講内容：

1. データモデリングのインパクト 2. KEYとRKEY 3. サブタイプ、スーパータイプ、サブストラクチャ 4. 管理対象間関係 5. 概念ファイル類型 6. 画面/帳票をイメージする 7. ビジネスルールを読む 8. 演習問題

開催スケジュール / 受講費用

開催日時・プログラムは変更させていただく場合がございますので、ご了承ください。

		2011年 10月	11月	12月	2012年 1月	2月	3月	所要時間	費用 (税込/1名)
データ総研 オープンカレッジ	データモデリングの基礎と演習(DC)	26日(水) 27日(木) 28日(金)		6日(火) 7日(水) 8日(木)		15日(水) 16日(木) 17日(金)		3日間 9:30 - 17:30	135,000円 1日: 50,000円 管理者向け
	データモデリングの活用(AC)		29日(火)		24日(火)		16日(金)	1日間 9:30 - 17:30	50,000円
	業務分析力・コミュニケーション力強化(VC)		15日(火) 16日(水)		19日(木) 20日(金)		7日(水) 8日(木)	2日間 10:00 - 17:30	90,000円
	プロセスモデリング(PROC)	14日(金)			25日(水)			4時間 13:30 - 17:30	30,000円
	業務知識とデータモデルパターン	12日(水) 販売物流	22日(火) 購買管理	15日(木) マスター管理	26日(木) 基幹会計	23日(木) 財務会計	15日(木) 生産管理	4時間 13:30 - 17:30	30,000円
	RFP作成体験コース	25日(火)						1日間 10:30 - 17:30	45,000円
	要件定義の進め方コース		25日(金)			24日(金)		3時間 14:00 - 17:15	10,000円
	「DAMA-DMBOK」基礎教育コース	7日(金)		1日(木)		2日(木)		4時間 13:30 - 17:30	30,000円
	「DAMA-DMBOK」データアーキテクチャ管理コース	20日(木)			17日(火)			3時間 13:30 - 17:30	30,000円
	「DAMA-DMBOK」DW/BI管理コース		10日(木)			14日(火)		3時間 13:30 - 17:00	30,000円
	「DAMA-DMBOK」リファレンスデータとマスターデータ管理コース			16日(金)			13日(火)	3時間 13:30 - 17:00	30,000円
	データ辞書構築ノウハウコース		30日(水)			22日(水)		1日間 10:30 - 17:30	45,000円
データクレンジング手順習得コース	18日(火)			27日(金)			4時間 13:30 - 17:30	30,000円	
システム企画研修 教育コース	システム分析・企画コース	11/17(木) - 18(金)			2/7(火) - 8(水)			2日間 9:30 - 18:00	81,900円
	"超"プロマネ養成塾	第43期: 1/14、28、2/11、25、3/10、24、4/7、21、7/21(全土曜日)						全9回 9:30 - 18:00	367,500円 別途お見積り
グローバル ナレッジ ネットワーク 教育コース	プロジェクトマネジメント(前編)	6日 / 31日 7日 / 1日	28日 29日	26日 27日	5日 / 30日 6日 / 31日	27日 28日	26日 27日	2日間 9:30 - 17:30	105,000円
	プロジェクトマネジメント(後編)	13日 14日	14日 15日	12日 13日	16日 17日	16日 17日	12日 13日	2日間 9:30 - 17:30	105,000円
	ソフトウェアエンジニアリング概論		17日 18日	21日 22日		13日 14日	22日 23日	2日間 9:30 - 16:30	102,900円
	ITプロフェッショナルのための会計の基礎	19日	16日	22日 / 19日	18日	15日	5日 / 19日	1日間 9:30 - 17:00	52,500円
	ITプロフェッショナルのための財務諸表の読み方	20日 21日	24日 25日	26日 27日	26日 27日	23日 24日	28日 29日	2日間 9:30 - 17:00	105,000円
	事例で学ぶITソリューション活用	13日 14日	16日 17日	1日 2日	12日 13日		1日 2日	2日間 9:30 - 17:00	105,000円
	ロジカル・シンキングのためのフレームワーク活用	6日 7日				2日 3日		2日間 9:30 - 17:00	105,000円
	ビジネス・ドキュメンテーションの基礎		10日 11日					2日間 9:30 - 17:00	105,000円
	ITコンサルタントの養成(基礎)	13日 14日	24日 25日	27日 28日	16日 17日	13日 14日	15日 16日	2日間 9:30 - 17:00	105,000円
	運用管理サービスフレームワーク概要	eラーニング (教材: CD-ROM)			標準学習時間: 20時間				21,000円
	経営戦略の基礎知識	eラーニング (教材: CD-ROM)			標準学習時間: 10時間				21,000円
コンサルティング基礎	eラーニング (教材: CD-ROM)			標準学習時間: 10時間				21,000円	
コンサルティングメソッドロジ	eラーニング (教材: CD-ROM)			標準学習時間: 10時間				21,000円	

グローバルナレッジ大阪支店 大阪カスタマビジットセンターにて開催

お申込・お支払方法

【データ総研 オープンカレッジ、システム企画研修 教育コース】

最終ページの申込書、または弊社WEBサイト（www.drinet.co.jp）申込フォームに必要事項をご記入の上、FAXまたは送信してください。

お申込責任者様宛てに、受付メール（またはFAX）をお送りします。
受付メールまたはFAXがお手元に届かない場合は、お手数ですがご連絡ください。

後日、お申込責任者様宛てに請求書を郵送いたしますので、請求書に記載された期日までにお振込みください。
「DRI教育チケット」をお持ちの場合、データ総研主催のオープンカレッジでご利用いただけますので、申込書のお支払方法よりご指定ください。

後日、お申込責任者様宛てに「DRI教育チケット点数管理表」をお送りいたしますので、残点数をご確認ください。
DRI教育チケットは1,000円を1点として換算し、点数が不足する場合は現金（振込）でのお支払いとなります。

会場は、データ総研 7Fセミナールームとなります（地図は次ページ）。
参加証は発行しませんので、当日受付にお名刺をお渡しください。

開催2日前よりキャンセル料が発生いたしますので、ご注意ください。

【データ総研 オンサイト 教育コース】

オンサイト開催：貴社ご指定の場所、日程にて開催いたします。
お見積り等のご相談は crm@drinet.co.jp へお問合せください。

【グローバルナレッジ 集合研修】

最終ページの申込書、または弊社WEBサイト（www.drinet.co.jp）申込フォームに必要事項をご記入の上、FAXまたは送信してください。

お申込責任者様宛てに仮受付メール（またはFAX）をお送りします。
受付メールまたはFAXがお手元に届かない場合は、お手数ですがご連絡ください。

お席の確保を確認次第、本受付メールをお送りします。受講票を添付いたしますので、当日ご持参ください。

後日、お申込責任者様宛てに請求書を郵送いたしますので、記載された期日までにお振込みください。

会場は、グローバルナレッジネットワーク（新宿ラーニングセンター または大阪カスタマビジットセンター）となります（地図は次ページ）。当日は、本受付メールに添付しました受講票をご持参ください。

開催14日前よりキャンセル料が発生いたしますので、ご注意ください。

【グローバルナレッジ eラーニング】

最終ページの申込書、または弊社WEBサイト（www.drinet.co.jp）申込フォームに必要事項をご記入の上、FAXまたは送信してください。

お申込者様宛てに、受付メール（またはFAX）をお送りします。
受付メールまたはFAXがお手元に届かない場合は、お手数ですがご連絡ください。

後日、お申込者様宛てに請求書を郵送いたしますので、記載された期日までにお振込みください。

ご入金確認後、10日程度で教材（CD-ROM）を郵送いたします。
ご入金後はキャンセルをお受けできませんので、ご注意ください。

お問合せ先

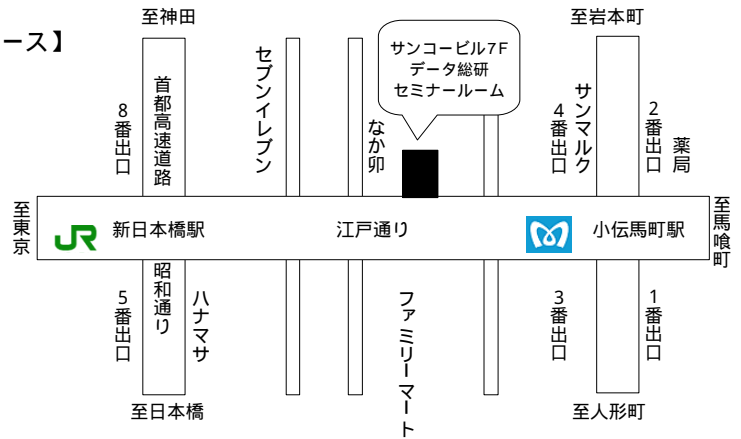
株式会社データ総研 セミナー担当 E-Mail : seminar@drinet.co.jp TEL : 03-5695-1651

会場のご案内

【DRIオープンカレッジ、システム企画研修 教育コース】

株式会社データ総研 7Fセミナールーム
 東京都中央区日本橋小伝馬町4-11 サンコービル7F
 TEL : 03-5695-1651

東京メトロ「小伝馬町駅」4番出口より徒歩1分
 JR新日本橋駅 8番出口より徒歩3分
 (ビル1Fは工具店・印鑑店・靴のアウトレット店です)



【グローバルナレッジ ネットワーク 集合研修】

グローバルナレッジ ネットワーク株式会社
 東京本社 新宿ラーニングセンター (略称: 新宿LC)
 東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー19F~20F
 TEL : 0120-009686

JR 新宿駅西口より徒歩9分
 都営地下鉄大江戸線 都庁前駅A5出口より徒歩6分
 東京メトロ丸ノ内線 西新宿駅2番出口より徒歩3分

グローバルナレッジ ネットワーク株式会社
 大阪支店 大阪カスタマビジットセンター
 大阪府大阪市北区中之島3-2-18 住友中之島ビル11F
 TEL : 06-4803-6950

地下鉄御堂筋線・京阪本線「淀屋橋駅」より徒歩8分
 地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」4番出口より徒歩2分
 JR東海道本線・大阪環状線「大阪駅」より徒歩12分
 JR東西線「北新地駅」より徒歩8分
 京阪中之島線「渡辺橋駅」4番出口より徒歩1分



ご注意事項

- ・録音/撮影機材のお持ち込みはご遠慮ください。
- ・参加ご希望の場合は、開催日の3日前までにお申込みください。ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。
- ・お申込みのキャンセル・参加者のご変更につきましても、開催日の3日前までにご連絡ください。
- ・各オープンカレッジ(集合研修)のキャンセルにつきましては、下記のとおり <キャンセル料> が発生いたしますのでご注意ください。

【DRIオープンカレッジ、システム企画研修 教育コース】	開催2日前~前日	参加費用の50%
	当日orご連絡なし	参加費用の100%
【グローバルナレッジネットワーク 集合研修】	開催14日前~当日	参加費用の100%

- ・グローバルナレッジネットワーク eラーニングにつきましては、ご入金後のキャンセルおよび教材の返品はお受けできませんのでご注意ください。
- ・使用するテキストは開催当日に配布いたします。テキストの先渡し、テキストのみの販売は受付けておりません。
- ・お申込みが最小催行人数に満たないときは、開催を中止させていただく場合がありますので、ご了承ください。

2011年度下期 DRIスキルアップ教育コース申込書 FAX: 03-5695-1656

* 申込責任者	ふりがな		ふりがな	
	お名前		会社(団体)名	
	部署名		役職	
	郵便番号	〒		
	住所			
	電話番号		FAX番号	
	E-Mail		お支払方法	現金振込 (円) DRI教育チケット (点)
	弊社からDM (郵送) および各種案内メール (E-Mail) をお送りしてよろしいですか? DM: はい いいえ 案内メール: はい いいえ			

* 申込受付メール受領者、請求書・DRI教育チケット管理者

参加者	ふりがな		ふりがな	
	お名前		会社(団体)名	
	部署名		役職	
	郵便番号	〒		
	住所			
	電話番号		FAX番号	
	E-Mail			
	弊社からDM (郵送) および各種案内メール (E-Mail) をお送りしてよろしいですか? DM: はい いいえ 案内メール: はい いいえ			

参加コース (にレ点をご記入ください)

データモデリングの基礎と演習(DC)	3日間(基礎+演習)	10/26(水) - 28(金)	12/6(火) - 8(木)	2/15(水) - 17(金)			
	1日間(基礎のみ)	10/26(水)	12/6(火)	2/15(水)			
データモデリングの活用(AC)		11/29(火)	1/24(火)	3/16(金)			
業務分析力・コミュニケーション力強化(VC)		11/15(火) - 16(水)	1/19(木) - 20(金)	3/7(水) - 8(木)			
プロセスモデリング(PROC)		10/14(金)	1/25(水)				
業務知識とデータモデルパターン		10/12(水): 販売物流	11/22(火): 購買管理	12/15(木): マスター管理			
		1/26(木): 基幹会計	2/23(木): 財務会計	3/15(木): 生産管理			
RFP作成体験コース		10/25(火)					
要件定義の進め方コース		11/25(金)	2/24(金)				
「DAMA-DMBOK」基礎教育コース		10/7(金)	12/1(木)	2/2(木)			
「DAMA-DMBOK」データアーキテクチャ管理コース		10/20(木)	1/17(火)				
「DAMA-DMBOK」DW/BI管理コース		11/10(木)	2/14(火)				
「DAMA-DMBOK」リファレンスデータとマスターデータ管理コース		12/16(金)	3/13(火)				
データ辞書構築ノウハウコース		11/30(水)	2/22(水)				
データクレンジング手順取得コース		10/18(火)	1/27(金)				
システム分析・企画コース		11/17(木) - 18(金)	2/7(火) - 8(水)				
“超” プロマネ養成塾 第43期(全9回)		1/14、28、2/11、25、3/10、24、4/7、21、7/21(すべて土曜日)					
プロジェクトマネジメント(前編)		10/6 - 7	大阪: 10/13 - 14	10/31 - 11/1	大阪: 11/14 - 15	11/28 - 29	12/26 - 27
		1/5 - 6	大阪: 1/16 - 17	1/30 - 31	大阪: 2/13 - 14	2/27 - 28	3/26 - 27
プロジェクトマネジメント(後編)		10/20 - 21	11/17 - 18	12/12 - 13	大阪: 12/19 - 20	1/16 - 17	2/16 - 17
		3/12 - 13	大阪: 3/12 - 13				
ソフトウェアエンジニアリング概論		11/17 - 18	12/21 - 22	2/13 - 14	3/22 - 23		
ITプロフェッショナルのための会計の基礎		10/19	11/16	大阪: 12/19	12/22	1/18	2/15
		大阪: 3/5	3/19				
ITプロフェッショナルのための財務諸表の読み方		10/20 - 21	11/24 - 25	12/26 - 27	1/26 - 27	2/23 - 24	3/28 - 29
事例で学ぶITソリューション活用		10/13 - 14	大阪: 11/16 - 17	12/1 - 2	1/12 - 13	3/1 - 2	
ロジカル・シンキングのためのフレームワーク活用		10/6 - 7	2/2 - 3				
ビジネス・ドキュメンテーションの基礎		11/10 - 11					
ITコンサルタントの養成(基礎)		10/13 - 14	大阪: 11/21 - 22	11/24 - 25	12/27 - 28	1/16 - 17	大阪: 1/26 - 27
		2/13 - 14	3/15 - 16				
運用管理サービスフレームワーク概要		eラーニング (教材: CD-ROM)					
経営戦略の基礎知識		eラーニング (教材: CD-ROM)					
コンサルティング基礎		eラーニング (教材: CD-ROM)					
コンサルティングメソッドロジ		eラーニング (教材: CD-ROM)					

ご記入いただきましたお客様の個人情報のお取り扱いにつきましては、裏面の「個人情報の取り扱いについて」をお読みいただき、ご同意の上お申し込み下さい。

【 個人情報の取り扱いについて 】

株式会社データ総研（以下、当社）は、ソリューションセミナー、オープンカレッジ、特別開催セミナー（以下、本セミナー）のお申込みにあたり、お客様よりご提供いただいた個人情報の取り扱いについて、下記のような対応を取っております。

1．個人情報の取り扱い

当社では、ご提供いただいた個人情報を、当社WEBサイト上の「個人情報保護方針」に従って取扱うと共に、外部へ漏洩することがないように、適切な安全対策を講じて保管致します。

2．個人情報の利用目的

当社では、ご提供いただいた個人情報を、本セミナーの受講申込みに伴う連絡、受講管理に利用するほか、当社の事業活動（コンサルティングサービス、教育研修サービス、ツール販売等）・企業活動に利用させていただき、他の目的には利用致しません。例外的に、他の目的に利用する場合は、別途その目的をお客様に通知し、お客様の同意を得た上で行います。

当社の事業活動

- ・当社のサービスに関する情報のご提供とご提案
- ・当社のサービスの実施運営
- ・サービス代金のご請求および回収業務

その他の企業活動】

- ・メールマガジンのご提供

3．個人情報の第三者への提供および委託について

当社では、お客様の個人情報を第三者に提供することは致しません。第三者へ提供する場合は、お客様の同意を得た上で行うと共に、十分な個人情報保護の水準を備える者を選び、「個人情報の取り扱いに関する契約」の締結などによって、個人情報の適切な保護を義務付けます。

4．個人情報の訂正、利用停止に関するお問合せ

当社WEBサイト「個人情報の訂正等・利用停止等申請書」をダウンロードいただき、右記窓口までご連絡ください。

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町4-11
株式会社データ総研 マーケティング・セミナー担当
TEL：03-5695-1651 / FAX：03-5695-1656
E-Mail：seminar@drinet.co.jp

5．個人情報の開示、利用目的に関するお問合せ

当社WEBサイト「個人情報の開示申請書」「個人情報の利用目的通知申請書」をダウンロードいただき、右記窓口までご連絡ください。

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町4-11
株式会社データ総研 法務担当
TEL：03-5695-1651 / FAX：03-5695-1656
E-Mail：houmu@drinet.co.jp

